

所 報

◆研究所の機構改革

研究所は、4月1日組織規程の改正を行ない、従来の5部3室19課室から6部2室17課室となった(組織図参照)。

主な改正点は、

(1) 従来の統計調査室を統計部に昇格し、新たに情報検索業務の企画を行なうとともに、統計資料の収集・保管・閲覧の業務を担当する、

(2) 調査研究部の各室を担当地域名に改め、その室の内容を明確化した、  
等である。

この機構改革に伴う人事異動が行なわれ、4月1日現在の部室課長はつぎのとおり(カッコ内は前職)。

総務部長(心得)	山下三郎(総務部参事)
次長	根岸富二郎(〃次長)
参事	萩原宜之(〃総務課長)
同	恒川敬一(調査業務部編集第二課長)
総務課長(心得)	柳沢雅一(長期成長調査室)
秘書課長	(総務部次長兼務)
経理課長	田中生男(総務部経理課長)
管理部長	藤崎信幸(管理部長)
参事	坂田実(管理部管理課長)
同	木村裕昭(〃連絡課長)
図書資料部長	阪田貞宜(図書資料部長)
次長	原田義信(図書資料部参考課長)
収集課長	中村弘光(収集課長)
整理課長	(図書資料部長事務取扱)
参考課長	(図書資料部次長兼務)
統計部長	大泉悦郎(統計調査室長)
統計課長 電子検索課長	(統計部長事務取扱)
調査業務部長	西川次郎(調査業務部長)
調査業務課長	山内武夫(調査業務部調査業務課長)
海外業務課長	(調査業務課長兼務)
編集第一課長	豊田俊雄(〃編集第一課長)
編集第二課長	中岡三益(総務部参事)
調査研究部長	笹本武治(調査研究部長)

専門調査員	岸幸一(調査研究部専門調査員)
同	深沢八郎(〃)
同	滝川勉(〃)
東アジア調査室長	(調査研究部長事務取扱)
東南アジア第一調査室長(心得)	長井信一(調査研究部第二調査室長心得)
東南アジア第二調査室長	斎藤一夫(〃第三調査室長)
南アジア調査室長(心得)	石井一郎(〃第四調査室長心得)
中東調査室長	(調査研究部長事務取扱)
アフリカ調査室長	藤田弘二(調査研究部第六調査室長)
ラテン・アメリカ調査室長	大原美範(〃第七調査室長)
長期成長調査室長	吉田稔(長期成長調査室長)
常任専門委員	辻吉雄(長期成長調査室常任専門委員)
同	林夫(〃)
専門調査員	長谷山崇彦(長期成長調査室)
同	大西昭(〃)
動向分析室長	梶田勝(動向分析室長)
専門調査員	岡部広治

◆調査協議会の開催

去る3月27日(金)午後2時から研究所内において調査協議会を開催した。会議は、日本エカフェ協会調査部長栗本弘氏のほか関係官庁、民間機関の委員14氏が出席した。研究所から渋谷、田島両理事のほか関係部室長が出席して、39年度事業計画および予算の概要につき説明したのち、4カ年計画および39年度調査研究課題案についてその概要の説明を行なった。

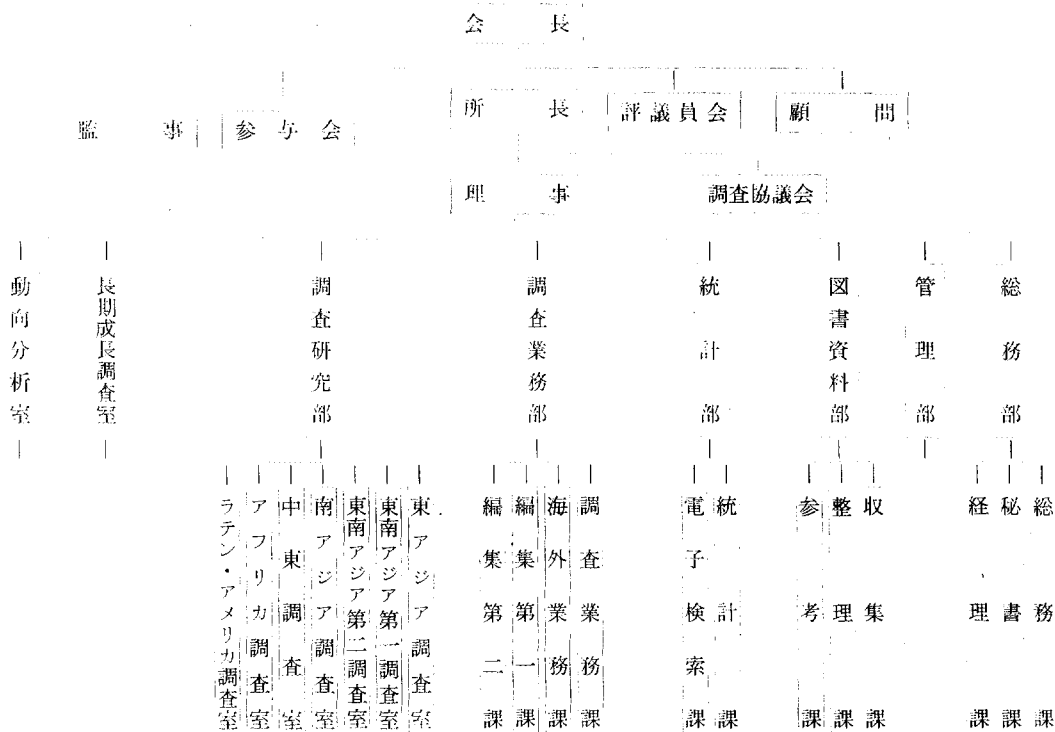
◆東畑所長の訪米

東畑所長は訪米経済使節団の一員として去る3月20日訪米した。

◆海外経済協力展の開催

研究所は4月14日から19日までの間、日本橋三越において、関係諸機関との共催、関係官省庁の後援により、海外経済協力強調運動の一環として海外経済協力展を開催した。協力展は、東南アジア諸国の風俗を映画などにより紹介するとともに、大平外務大臣はじめ著名人の講演会を行なった。

アジア経済研究所組織図 (昭39年4月1日現在)



◆海外派遣員の帰国

昭和36年度海外派遣員のうち、片野彦二は2年間の派遣期間を終了し帰国した。

氏名	研究課題	派遣地	帰国日
片野彦二	インド経済開発における基礎的諸問題	カルカッタ	3月27日

◆出版案内 (3月16日～4月15日発行のもの)

<調査研究報告双書>

- 第50集『インド農村の社会構造』(福武直編)
- 第51集『インド村落の社会経済構造』(福武直・中根千枝・大内力共著)

<アジア経済研究シリーズ>

- 第52集『ブラック・アフリカの社会経済変容』(泉靖一編)
- 第54集『アジア経済の発展と港湾』(北見俊郎著)

<アジア経済調査研究双書>

- 第107集『イブン・ハルドゥーンの歴史序説』上巻(田村実造編)

(従来、当研究所の出版方式は、研究委員会の成果を「調査研究報告双書」、委託研究の成果を「アジア経済

研究シリーズ」としての二本建ての形式を採ってきたが、昭和39年度以降これらの装本を一本化して、新たに「アジア経済調査研究双書」という名称のもとに実施することになった。また、番号については、従来の双書、シリーズを合算した数字を継続する。ただし、38年度分のうち本書のみ下巻(39年度刊行)と統一するため、新装本により実施した。)

<研究参考資料>

- 第59集『台湾の産業構造』(笹本武治編)
- 第63集『西バキスタンの土地改革』(平島成望著)
- 第64集『中近東における石油問題』(野口雄一郎編)
- 第65集『東南アジアの糖業』(斎藤一夫編)
- 第66集『アジアの経済法(II)』(内田力蔵編)
- 第67集『アジアの合弁企業』(菅原藤也編)

<翻訳シリーズ>

- 第14集『低開発国における教育投資の基本問題』(清水義弘訳)
- 第15集『低開発国への資金の流れ』(外務省経済協力局訳)
- 第16集『DAC加盟国の開発援助』(外務省経済協力局訳)

<文献解題シリーズ>

第6集『アフリカの経済開発』

第7集『東南アジアの経済開発(II)』

<クロノロジー>

『アジアの動向』(No.6, 2月号)

” (No.7, 3月号)

<その他>

『蔵書目録』(アジア経済研究所編, 昭和38年度版)

『東南アジア関係資料総合目録』I, II, III, IV, 索引(アジア経済研究所編)

ASIAN TRADE STATISTICS, Details (Export, 1960)

◆「アジア経済の長期展望計画」作業進捗状況(3月分)

[総合委員会]

1. 委員会の開催

「アジア経済の長期展望」報告の正式採択のため総合委員会を3月31日に開催の予定であったが、これは4月14日に延期された。

[調整委員会]

1. 委員会の開催

- (1) 小委員会(3月9日, 3月31日)委員長連絡会議  
展望値の検討および報告案の検討
- (2) 調整委員会(3月23日)  
報告案の検討

2. 事務局の作業状況

「展望の概要」の作成

[総体予測委員会]

1. 委員会の開催

小委員会を随時開催, 報告書ドラフト検討

2. 事務局の作業状況

- (1) 国別経済の巨視的展望値からアジア低開発地域経済の総体的展望値計算
- (2) 国別輸入関数の計算と貿易マトリックス逆行列計算(貿易小委員会)
- (3) 最終報告書のドラフト作成

3. 今後の予定

各分科委員会との予測値との調整, 検討のうえ, 4月17日に予定される総合委員会をへたのも報告書の本印刷を行なう。

[農業委員会]

1. 委員会の開催

- (1) 第42回委員会(3月16日)

辻委員による東南アジア(インド, パキスタン,

タイ)の経済開発計画の実状と見通しに関する現地調査報告

- (2) 第43回委員会(3月23日)
- (3) 第44回委員会(3月27日)

展望値と最終報告の検討

2. 事務局の作業状況

- (1) 対象農産物の需給バランス表(1950年, 1960年および1970年), 国別展望値, 品目別展望値を総合した主要農産物展望値一覧表を作成。

- (2) 対象品目生産指数作成

3. 今後の予定

本印刷まで必要と思われる訂補再検討を行なう。

[工業委員会]

1. 委員会の開催

第14回委員会(3月26日)

対象工業製品(繊維, 紙, セメント, 鉄鋼, 化学肥料および化学薬品)の消費と生産の予測値を検討し問題点を整理

2. 事務局の作業状況

- (1) 生産予測値の確定
- (2) 6品目生産指数作成
- (3) 最終報告作成

3. 今後の予定

本印刷まで最終報告の訂補と調整

[資源委員会]

1. 委員会の開催

最終報告案についてそれぞれ担当の各委員から報告があり, これを審議してほぼ原案通り決定した(4月3日, 4月10日)。

2. 事務局の作業状況

- (1) 各品目の原稿の調整と検討
- (2) エネルギー・バランスの検討
- (3) 概説の執筆と検討

3. 今後の予定

本印刷まで報告の補訂と調整